

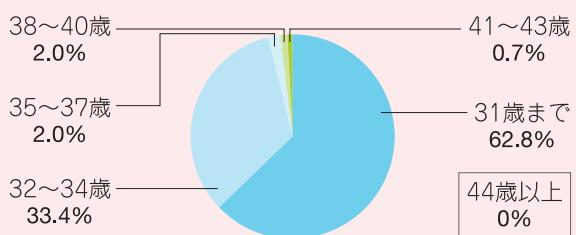
※タイミング療法

■回数別(周期別)累積妊娠表

複合治療の方が多くタイミング療法だけという方の統計処理は出来ませんでした。

■治療者年齢分布図

タイミング療法で妊娠された方の平均年齢 32.8歳



医師のコメント

妊娠力の低下は認められるが検査などで明らかな異常がなく自然妊娠が期待できる場合には、タイミング療法を行います。タイミング療法は経済的、身体的負担を軽減できますが、治療が必要なときにタイミング療法を続け、適切な治療の遅れが生じないようにしなければなりません。不妊原因を考慮し原則6ヶ月、それ以外の場合には3～4ヶ月が目安でしょう。

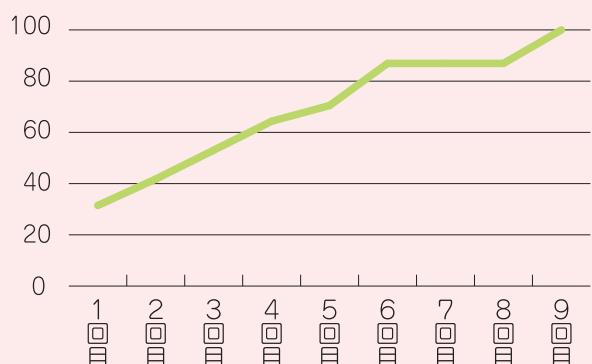
■通院クリニックの割合

多岐にわたっているため省略させていただきます。

※人工授精

■回数別(周期別)累積妊娠表

2009年度に人工授精で妊娠された方の最多回数は9回のため9回が累積の100%として表示されます。皆様からよくご質問いただき、「何回目の人工授精までに妊娠される方が多いですか?」というご質問への回答が以下のデータとなります。



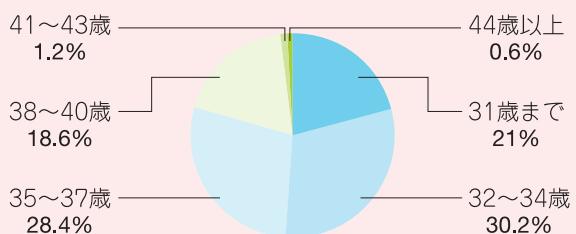
医師のコメント

人工授精は、運動精子数(精子濃度×運動率)が自然妊娠するためには少ない場合に有効です。精子を直接子宮内まで注入することで運動精子が少なく自然の性行為では子宮内に入りにくい場合でもそれを可能にすることができます。しかし、妊娠しない原因が運動精子数だけによる場合、論理的には人工授精1回目で妊娠が成立し、多くとも4～6回までで妊娠するはずです。しかし、現実として人工授精の妊娠率は低く、多くの方が4～6回では妊娠しません。その理由として、原因が卵管に起因している場合が多いためと考えられています。卵管は疎通以外の検査ができないため、卵子のピックアップ障害や精子の通過障害など調べることができない原因がたくさんあります。そのような場合は体外受精へのステップアップが有効的です。

■治療者年齢分布図

人工授精(AIH)で妊娠された方の平均年齢 32.7歳

人工授精(AID)で妊娠された方の平均年齢 34.1歳



■通院クリニック割合

病院名	割合
はらメディカルクリニック	36.9%
杉並区不妊治療専門クリニック2	9.0%
江東区産婦人科クリニック	4.5%
信濃町大学病院	4.5%
渋谷区不妊治療専門クリニック1	4.5%
渋谷区不妊治療専門クリニック2	4.5%
世田谷区不妊治療専門クリニック	4.5%
千代田区婦人科クリニック	4.5%
目黒区婦人科クリニック	4.5%
横浜市不妊治療専門クリニック1	4.5%
横浜市不妊治療専門クリニック2	4.5%
他	13.6%



医師のコメント

体外受精は体外での受精方法により卵管因子など多くの不妊原因が取り除けるため、卵子と精子の質が結果を左右します。重度男性不妊の場合(TESE-ICSIなど)を除くと、多くの場合妊娠は卵子によって決まることが多く、それは年齢による問題が最大です。しかし、年齢を取り戻すことはできませんし、今大事なことはベストな方法を選択していくことです。

1 ボーンスquizを毎周期継続しましょう

血流量の10%上昇を卵巢で恒常に保てるようにし、卵胞が発育に不可欠な血液中のFSHに十分に曝される状態を維持しましょう。黄体の消失後に次周期の卵胞発育に必要なFSH,LHを供給することが次周期の排卵を良好なものにします。

2 クリニックでの治療方法を見直しましょう

①空胞を繰り返している方

排卵誘発は適切ですか？卵胞の成長にはFSHが必要です。これを加えるのが排卵誘発であり、その加える量や方法によって排卵誘発の方法が異なります。必要量は個人の卵巢レベルに応じて異なるため、事前の検査をもとに決定されます。同じ方法で空胞を繰り返している方は違った方法も試してみましょう。FSHよりLHが高い方はLHを抑制しながら卵胞発育を促せる方法が必要です。また、せっかく適切な誘発方法であっても採卵前のLHサーチが不十分な場合卵子が顆粒膜細胞から離れず空胞になります。採卵前のLHサーチの方法も見直してみましょう。

具体例

- 排卵誘発方法には、完全自然周期法、クロミフェン法、hMG/rFSH法、クロミフェン+hMG/rFSH法、GnRHアゴニスト法、GnRHアンタゴニスト法があり、さらに、注射器ではなくより自然に近いリズムで薬剤を注入するシリンジポンプ法、スプリット法、成長ホルモンを加えるGH法などあります。
- LHサーチを起こす方法には、点鼻薬のスプレキュー やナサニールを用いる方法と、hCG注射を用いる方法があります。点鼻薬の場合吸引量が不安定なことと、反応までに個人差がありますのでこの方法で空胞が続く場合hCGを検討しましょう。

②良好胚を移植しているが妊娠反応がない方

SEET法をとりいれてみましょう。着床不全の原因のひとつに受精卵の子宮内膜との反応不全があります。最近の研究では着床準備のためには、受精卵からシグナル(胚因子)が必要であり、それと同調し子宮内膜は着床環境と整える(implantation windowを開く)と考えられています。胚盤胞移植単独ではそのシグナルを送るタイミングがないために着床不全の原因の1つになると言えます。そこで、SEET法を実施しこの反応不全を取り除きます。SEET法には自身の胚を胚盤胞まで培養した培養液を使用する方法と一般培養液を使用する方法の2種類あります。

③胚盤胞達成率が低い方

これも、上記①同様、排卵誘発方法の見直しが必要です。ORT(卵巢予備能力検査)bFSHとbLH比率、AMH、卵巣容積を総合的に診断し、適切な方法を選択しましょう。

・ボーンスquiz

報告を受けた副作用

症 状	発生率
ボーンスquiz施術中、痛みが原因による患者様希望途中中止	0.23%
ボーンスquiz施術中、セラピスト判断による途中中止	0%
初回時、ボーンスquiz後皮下出血(あざ等)の出現—軽度	約 5~7%
初回時、ボーンスquiz後皮下出血(あざ等)の出現—広範囲	約 1~2%
2回目以降、ボーンスquiz後皮下出血(あざ等)の出現—軽度	1% 以下
2回目以降、ボーンスquiz後皮下出血(あざ等)の出現—広範囲	1% 以下
ボーンスquiz後跛行	0%
ボーンスquiz施術後数日間の筋肉痛	約 85%
ボーンスquizに関する事故	1 件*

* 上部腹部圧迫による肋軟骨の打撲。加療必要なし。

・鍼治療

症 状	発生率
鍼治療による副作用、および事故	0 件